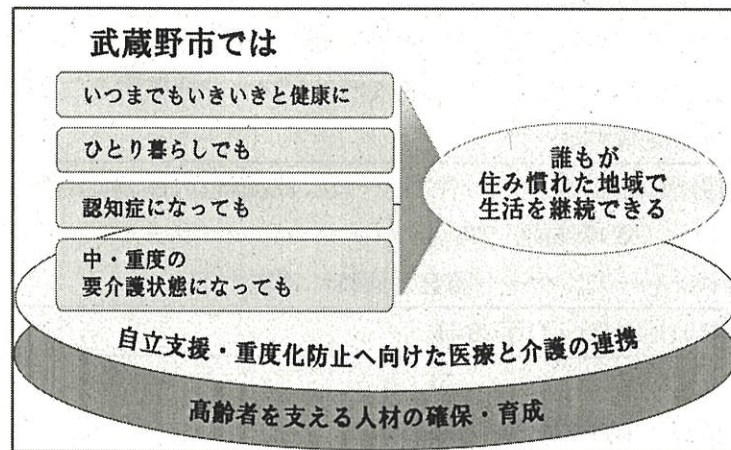


## 武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定に向けて

### 1 策定の目的と背景

令和3（2021）年4月からスタートする「武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」の策定に向け、令和元年度は7つの実態調査を実施している。各調査結果による市民ニーズを踏まえ、令和7（2025）年のみならず、介護や医療ニーズがピークを迎える令和22（2040）年を見据えて、「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり（武蔵野市版地域包括ケアシステム）」をさらに推進していく。

2025年に向けて武蔵野市が目指す“高齢者の姿とまちづくり”



### 2 次期計画策定へ向けた実態調査の概要

令和元年度に以下の実態調査を実施し、エビデンスと分析に基づいて計画策定にあたる。

#### ① 高齢者の介護予防・日常生活アンケート <厚生労働省の指針に基づく実態調査>

目的	高齢者の生活実態、地域活動への参加意向、介護保険事業の利用意向、その他高齢者施策全般に係る意見・要望等を把握する。
対象者	市内在住の要介護1から5の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名（要支援1、要支援2、総合事業対象者を含む。）
期間	令和元年12月6日～12月23日

#### ② 要介護高齢者・家族等介護者実態調査 <厚生労働省の指針に基づく実態調査>

目的	「要介護者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」に有効なサービス利用の在り方や基盤整備の方向性を検討するための基礎資料とする。
対象者	要介護1から要介護5の在宅の方で「要介護認定の更新申請・変更申請」をし、本調査の調査期間内に要介護認定調査を受けた方
期間	令和元年9月1日～令和2年1月31日

③ 武蔵野市ケアマネジャーアンケート調査

目的	市の高齢者施策がより充実したものとなるよう、介護保険サービスを利用する高齢者の実態や市の高齢者施策に対するケアマネジャー（介護支援専門員）の意見・要望等を把握する。特に高齢者の在宅生活の限界点や医療連携の課題、ケアマネジャーの資質向上に向けた施策検討の基礎資料とする。
対象者	市内事業所に属するケアマネジャー及び武蔵野市民の利用者がいる市外事業所のケアマネジャー（83事業所、278名）
期間	令和2年1月6日～1月20日

④ 高齢者の在宅生活継続調査

目的	現在のサービス利用では生活の維持が難しい利用者について、ケアマネジャーの視点からの「生活を改善するために必要なサービス」を把握することにより、今後必要な介護サービスを検討する。
対象者	市内事業所に属するケアマネジャー及び武蔵野市民の利用者がいる市外事業所のケアマネジャー（83事業所、278名） ケアマネジャーアンケート調査と同時に実施する。
期間	令和2年1月6日～1月20日

⑤ 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査

目的	福祉サービスを担う介護職員・看護職員等の現状を把握することで、今後の武蔵野市における人材の確保・育成に係る具体的な方策について基礎データを得る。 今回は事業所票を新たに追加し、採用者数と離職者数の把握、外国人介護人材の受入れ意向等を把握する。
対象者	市内で介護サービスを提供している施設・事業所に所属するすべての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員
期間	令和元年11月19日～令和2年1月6日

⑥ 介護施設等における入退所調査

目的	介護サービスの量だけではなく、機能の強化を図る観点から、住み慣れた地域で最期まで生活を継続するために介護施設等に必要な機能について検討するための基礎資料を得る。具体的には、住まいを変更せざるを得なかった人と、その住まいで最期まで生活できた人の割合を把握する。
対象者	介護施設等（特養、老健、介護療養型、特定施設、認知症GH、サ高住、住宅型有料、軽費老人ホーム）の管理者 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査と同時に実施する。
期間	令和元年11月19日～令和2年1月6日

⑦ 武蔵野市独居高齢者実態調査

目的	市内独居高齢者の数や実態を把握し、緊急連絡先の収集をする。また、民生委員が自宅を訪問することにより、日常生活での困りごとや生活の状況などを把握する。併せて、3年に一度民生委員改選後に対象者を訪問することで、担当地域を知るきっかけの場とする。
対象者	市内在住の65歳以上の単身世帯 約11,100人（住民基本台帳上）
期間	令和元年12月11日～令和2年8月31日

3 今後のスケジュール

令和2年3月 実態調査の報告書完成  
5月 第1回策定委員会の開催

4 武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定委員会の設置

計画策定にあたっては武蔵野市地域包括ケア推進協議会を中心に委員を選出し、武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定委員会を設置する。

■策定委員会の設置概要（予定）

委員数：11名

期 間：令和2年5月から令和3年3月まで

回 数：策定委員会 6回

市民意見交換会 3圏域各1回

武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画策定委員との意見交換会 1回



## エンディング支援事業

### 1 目的

高齢者が最期までその人らしい人生を送ることができるよう、エンディングに関する相談やエンディングノートの配布・出前講座を通じて、今をよりよく、前向きに生きることを支援する。

### 2 対象

概ね65歳以上の市民

### 3 内容

#### ○エンディング相談支援（平成31年4月1日より実施）

エンディングに関すること等について相談を受け付ける。葬儀や家財整理等の生前契約について、必要な方には福祉公社を案内する。

#### ○エンディングノートの配布・出前講座（令和元年7月15日より実施）

\*配布場所 高齢者支援課、在宅介護・地域包括支援センター、福祉公社

\*出前講座 終活の目的・内容、エンディングノート記入のポイント等を説明  
5名以上、会場を用意して3週間前までに要申込

### 4 エンディングノートの配布・出前講座実績（令和元年7月～令和2年2月）

#### ○エンディングノート配布部数

約3,484部

#### ○出前講座実施状況

41回開催、908名参加

\*受講団体 老人クラブ、コミセン、テンミリオンハウス、いきいきサロン、地域社協、いきいきセミナー、地域住民（有志の集まり）、地区別ケース検討会、介護事業者等

#### \*受講後の感想

- ・終活はやらなければならないのは考えていたが、まず簡単なものからやります。
- ・緊急医療情報キットは参考になった。
- ・残されたこれからの人生、ワクワク楽しみたいと前向きになれました。
- ・今までの人生を振り返っていただき、これからをどう過ごしたいかを自分で探してもらうために利用者にすすめたい。ただ伝え方によっては否定されることも…。どのようにすすめたらよいか。（介護事業者からの感想）

